



御礼

拝啓 皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます

この度は、広島・長崎爆心地中間点上毛町 未来へつなぐ平和の架け橋事業の平和記念式典にて公演させていただく機会を頂き、ありがとうございました。子ども達も大変喜び、勉強させていただきましたこと、感謝しております。

皆様からの温かいご支援に感謝するとともに、次世代を担う子ども達によって被爆体験を継承する活動を通して、平和な世界の実現に貢献できるよう、一層の努力をする所存でございます。

皆様の益々のご発展を祈念いたしますとともに、心より感謝御礼申し上げます。略儀ながら、公演の御礼とさせていただきます。

敬具

特定非営利活動法人 I PRAY
制作・演出 木原 世宥子



尼子 惠理

県外で公演できる良い機会をくださり、ありがとうございました。皆さんと共に平和を願うことができました。子ども達が大人になって、心から戦争はだめだと言える人になる様、これからも続けていこうと思っています。いつまでもいつまでも子どもの笑顔が消えないように。

尼子 笑大 (12歳)

今日ぼくは、最初きんちょうしたけどスタートは、ちゃんとできました。ストップモーションがきんちょうでうごいてしまいました。ちょっとまったは、大きい声でいえました。布をかぶったときは、うごかずできました。劇をおえたときは、すっきりしました。鳥のように、えがおできました。うれしかったです。

尼子 大喜 (10歳)

今回、I WISH でまちがえたけど、たくさんのお客さんの前でたのしくおどれました。上毛町で、IPRAY をさせていただきありがとうございました。

尼子 楓華 (14歳)

今日は福岡公演に出演させていただきありがとうございました。県外で公演するのは、広島公演と違い、新鮮でより緊張しました。ですが、たくさんの方々に見てもらうことができ、とてもうれしかったです。一生懸命演じることができました。次の公演に向けて、これからもがんばっていきたいと思います。

石川 小尋 (7歳)

きょう、とおいところについて、げきができてすごくうれしかったです。げんばくのストップモーションができ、ちゃんとあいだをあけてとまれました。けがれなきをにっこりできました。

猪上 皇輝 (9歳)

このたびは上毛町によんでいただきありがとうございます。苦しいところは苦しく、楽しいところはえがおでできたと思います。もっと色々な場所で平和へのねがいを、そしてくるしさやひばく者の人たちの思いをつたえていきたいです。ありがとうございました。

小川 采音 (8歳)

こんかいは、8月4日にしたときとおなじくらいがんばれたと自分ではおもっています。でも、まだできないところもたくさんあるのでなおしたいです。らい年は、もうすこしなおすところをなおして、えがおと元気をわすれずにしたいです。

大塚 涼 (4歳)

いつもひばくをするときのおかおにいろをつけるとき、こわくてなみだがでます。こわいけどがんばりました。うたをいっしょうけんめいうたって、えがおになりました。へいわのメッセージが伝わればいいとおもいます。

大塚 萌 (10歳)

たくさんのお客様が来られていて、とてもきんちょうしました。初めて、県外でのステージだったので、広島でのステージとすこしちがう所もあったけれど、みんなと協力してできたので良かったです。平和を願いながらできました。今回の福岡のステージに出させていただき、本当にありがとうございました。

大塚 和 (13歳)

8月4日の公演とは役がちがい最初はタイミングがつかめなくてどうしようと少しとまどいました。でも練習をつみかさねていくうちにタイミングがつかめ自分の演技をすることができました。本番は前の人とかぶったり向きをまちがえたりしたけど一番の笑顔で頑張れたので良かったです。今日福岡の公演に呼んでいただきありがとうございました。

木村 加津沙

今回、上毛町で IPRAY 公演が出来、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。この IPRAY 公演にたくさんの方々のご協力もあり、無事終える事が出来ました。今後も広島だけでなく、全国各地の方に IPRAY を通して、戦争のない世界を、子どもたちが笑顔いっぱいあふれる世界になるように、皆で心を込めて、精一杯伝えていきたいと思います。これからも平和を願い頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

三分一 流星 (15歳)

今回のステージに出させていただきありがとうございました。福岡の上毛町という場所で、初めての場所でのステージということもあり、リハーサルでは、たくさんまちがえたり、環境の違いに最初は、苦戦しましたがたくさんの方に見ただけで、戦争の恐ろしさ、平和の大切さを伝えることができたので良かったです。ありがとうございました。

島川 奈那佳 (6歳)

今回は、ありがとうございました。大きな口を開けて、歌うことができました。踊りはまちがわずにがんばりました。ストップモーションの後の「イエーイ」は、大きな声で元気よくできました。これからもがんばります。

丹 睦月 (18歳)

今回の福岡での IPRAY 公演は、普段と違い県外での公演となり、小さな子達も大変だったと思います。しかし、本番は全員で力を合わせてしっかりと演技きり、この舞台を成功させることができて良かったです。最後のお見送りの際に、観て下さった皆さん一人一人から、ありがとう、良かったよと言って頂き、この IPRAY を通して少しでもメッセージを伝えることができたと思い、とても嬉しかったです。

濱田 光紗希 (5歳)

被爆のところを1番がんばりました。大きな口を開けていっぱい歌いました。遊ぶところが楽しかったです。ステージの上に一緒にあがる方の手を引っぱって上がるのはとてもむずかしかったけど、がんばりました。ありがとうございました。

濱田 葵音 (8歳)

きている人にへい和をつたえ、もうにどとせんそうをおこさないようにしてできました。アイウィッシュとりのようにをきちんとおどれてうれしかったです。げきをまちがえないでできた。えがおのできたのでよかったです。げんきでできたのしくできました。

松田 充貴

広島と長崎の中間地点である上毛町で、平和創作劇「I PRAY」を無事公演する事ができとても嬉しく思います。広島から呼んでいただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。歴史的に貴重な場所で公演させて下さりありがとうございました。来年は25周年を迎える「I PRAY」ですので、これからも平和を祈り続けてまいります。

宮川 唯斗 (16歳)

今回の福岡の公演は、IPRAYが主催したものではなかったので、いつものIPRAYとは違った緊張がありました。ですが、音響照明や上毛町、ロータリーの方々の応援のおかげでとても良いステージになりました。まだまだ不十分なところがたくさんありましたが、また呼んでいただけるような最高のステージを木原先生のもとでつくっていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

宮本 佳穂 (16歳)

平和式典に呼んでいただいてありがとうございました。リハーサルでは音響、照明とのタイミングがあわなかったりしましたが、本番では全員で気持ちを一つにしI PRAYを無事終えることができました。初めて福岡県でI PRAYをして私自身とても勉強になりました。来年に向けてこれからも頑張ります。

スタッフ感想文

大塚 美樹子

この度は、平和記念式典に出演をさせていただき、ありがとうございました。上毛町の方々、ロータリー様のおかげで、子供達皆精一杯平和へのメッセージを伝えることが出来たと思います。今日を迎えるまで幾度と練習を重ねてきました。うまくいかず涙を流すことも、怖さで衣装に手を通すのをためらった事もありました。しかし、今日の演技が観客の皆様の心に響き、もう二度とこんな戦争を起こすようなことが無いようにしたいと思っていただけたのであれば幸いです。これからもメッセージを発信しつづけていきたいと思っています。

小川 舞衣香

平和記念式典にご招待頂き、貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。私は被爆役のヘアメイクを担当させて頂きました。爆発後の乱れた髪の毛を再現することで、当時の被爆の様子を少しでもリアルに感じて頂けたらと思いつつさせて頂きました。時間のない中でうまく手が回らず、全員の髪をうまくメイクできなかつたことが反省点です。広島と長崎の中間地点である上毛町で演じさせて頂くことで、より全員で平和への思いを強めることができたと思います。本当にありがとうございました。

濱田 久恵

本日の平和式典では、子供たちの真剣な演技や笑顔を通して平和への想いを伝えることができたかと思えます。被爆都市の長崎と広島の間地点である上毛町で IPRAY を公演し、広島と長崎の方々に観て頂けるという事ががんばって練習をしていました。また、保護者としては公演が無事おわりホッとしているとともに、また子供達が難しい役や新しい役に挑戦し成長していく姿を観て頂きたいと思えます。ありがとうございました。

事務局 胡田 倫宏

本日は、広島東南ロータリークラブ 60 周年記念行事の一環として、広島と長崎の間地点である「上毛町」で開催の平和記念式典にオファーいただき誠にありがとうございました。上毛町で公演できた事が IPRAY の活動に有意義なものとなり、平和であるべきこと、戦争の恐ろしさを伝えることができた嬉しく思います。今度とも「IPRAY」を宜しく願い申し上げます。